

新日軽 一般サッシ 他社金属製サッシ (木製戸袋)

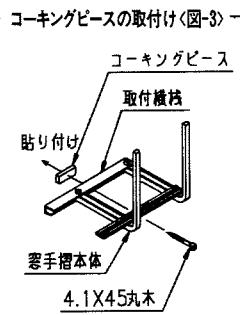
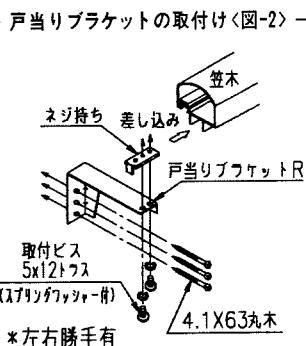
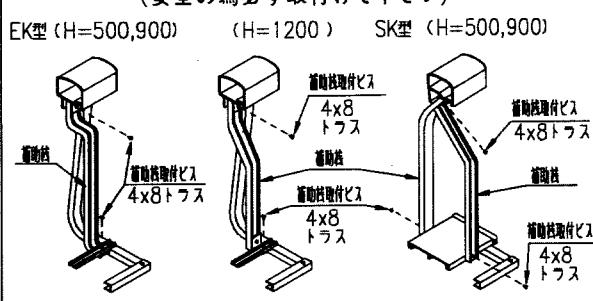
用 窓手摺り組立施工マニュアル

■ 取付方法

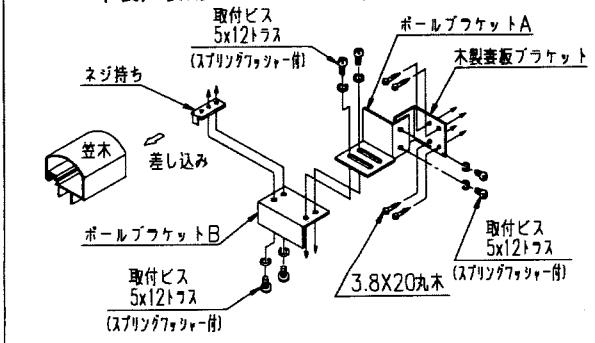
- 1) 補助桿の取付け <図-1 参照>
窓手摺り本体に補助桿を取付けて下さい。
- 2) 戸当りブラケットの取付け <図-2 参照>
笠木に戸当りブラケットを仮止めして下さい。
- 3) コーキングピースの取付け <図-3 参照>
取付横桿へコーキングピースを貼り付けて下さい。
*コーキングピースは取付横桿の木ネジ取付孔
に合わせて貼り付けて下さい。
- 4) 木製戸袋用ブラケットの取付け <図-4 参照>
笠木にポールブラケットA・ポールブラケットB 及び木製妻板ブラケットを
仮止めして下さい。
- 5) 連結金具の取付け <図-5 参照>
笠木に連結金具及び戸当りブラケットを仮止めして下さい。
- 6) 窓手摺りの取付け <図-6 参照>
窓手摺り本体の幅方向の位置を調整後、笠木と戸当りブラケット <図-2>
を固定し、窓手摺り本体を軸体に取付て下さい。<図-2・図-3>

補助桿の取付け <図-1>

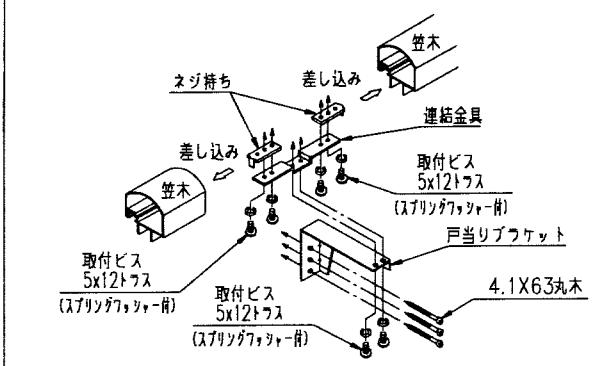
(安全の為必ず取付けて下さい)



木製戸袋用ブラケットの取付け <図-4>



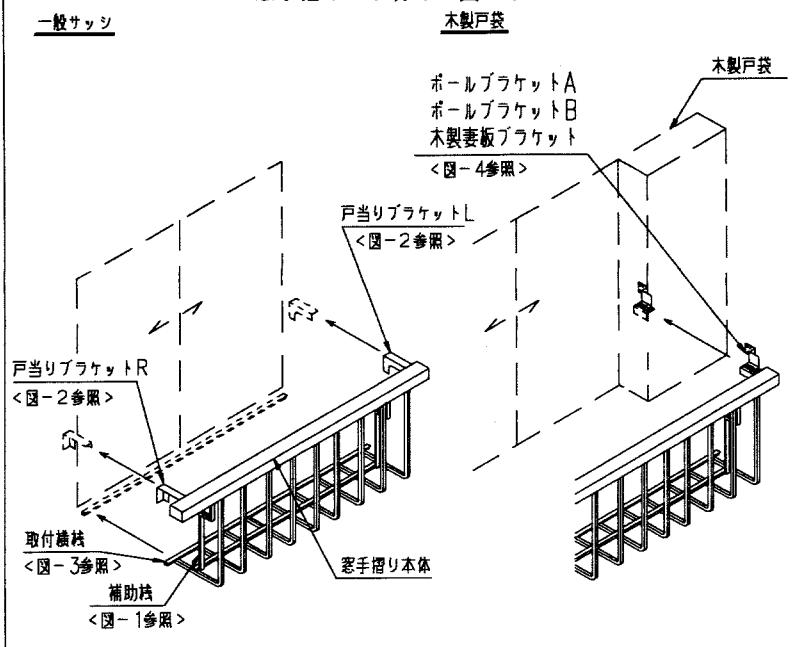
連結金具の取付け <図-5>



■ 部品箱明細

姿図	部品名称	部品No.	一般サッシ	木製戸袋用
			LTV7 CLTV7 SLTV7	LTV8 CLTV8 SLTV8
	戸当りブラケット R	NEB-591R	1	1
	戸当りブラケット L	NEB-591L	1	
	ポールブラケット A	NLB-53		1
	ポールブラケット B	NLB-54		1
	連結金具	NLB-70	1	
	木製妻板ブラケット	NLB-81		1
	ネジ持ち	NBN-41	2	2
	コーキングピース	NBC-80	11	11
	取付ビス 5x12トラス (スプリングワッシャー付)	MTB5X12	5	9
	取付ビス 4x8トラス (補助強化用)	3TB4X8	6	6
	取付ビス 4.1X45丸木	WR41X45	11	17
	取付ビス 4.1X63丸木	WR41X63	6	
	取付ビス 3.8X20丸木	WR38X20		4
	取付説明書	MN-1038	1	1

窓手摺りの取付け <図-6>



木造住宅用アルミ製窓手すり施工の手引き

■ 禁止事項ならびにご注意

- △ 他社製アルミサッシの枠には、直付けすることはできませんので軸体付けて施工してください。
- △ 木造住宅用アルミ製手すりは、そのままではRC・鉄骨造ALC外壁には施工できません。
- △ 窓手すりの切り詰め以外の改造は絶対にしないでください。

■ 窓手すりの組み立て・取り付け上の留意点

- 建築図面等から柱・間柱・窓台などの位置・寸法・外装材・下地材の寸法を確認してください。
- 付属の部品・ねじ、または指定された部品・ねじ類を必ず使用してください。
- 組立て説明書にしたがって組み立ててください。特にねじ類は確実に締め付けてください。
- ブラケットは柱位置に確実に取付けてください。
- 取付けの木ねじの柱へのねじ込み長さは、30mm以上になるようにしてください。（図-A参照）
- 木ねじの取付け位置は、柱の端部にならないよう、また外装材の端部にならないようにしてください。（図-B参照）

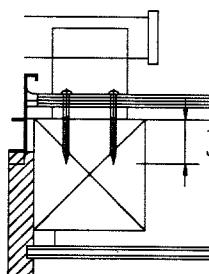


図 - A

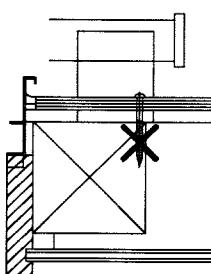


図 - B

外装材や下地材が厚い場合には、付属の木ねじでは、ねじ込み長さが不足する場合があります。
このような場合には、メーカーのカタログ・説明書を確認するか、メーカーに問い合わせてください。

- ねじ止めは確実に締め付けてください。（図-C参照）
- 外壁に下穴を明ける場合、柱まで穴を明けないようにしてください。ねじの支持力が激減します。（図-D参照）
- 外装材に明けた穴には窓手すりブラケットをねじ止めする際、コーキング材を充填して漏水を防止してください。（図-E参照）

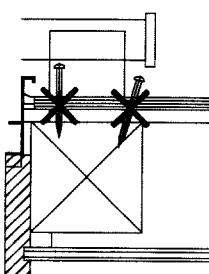


図 - C

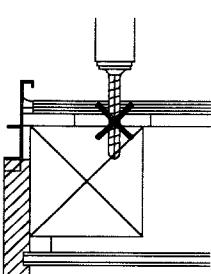


図 - D

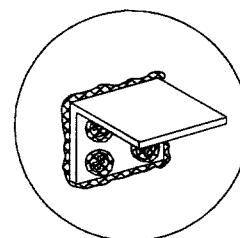


図 - E

- サイディング通気工法の場合、窓手すりの取付け位置に脇縁があることを確認してください。（図-F参照）
- 発泡材を充填または貼り合わせた金属サイディングの場合には、その上から取付けないでください。（図-G参照）
サイディングがくぼんで意匠を損なったり、窓手すりのガタツキの原因になります。

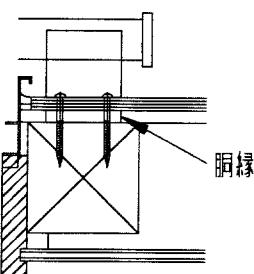


図 - F

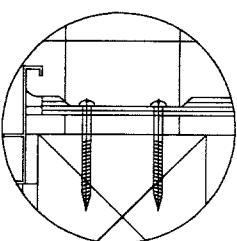


図 - G

あらかじめ脇縁下地材を入れておくように建築施工業者と相談しておいてください。

- サッシ枠への取付けが可能な製品の場合は、説明書に従い正しく施工してください。
- 施工後、各部の締め忘れや緩みがないか、よく確認してください。
- 窓内側から、笠木を強くゆすり、ガタツキや緩みがないかよく確認してください。
- 検査される人は安全に十分ご注意ください。